

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成29年10月26日(2017.10.26)

【公開番号】特開2016-137388(P2016-137388A)
 【公開日】平成28年8月4日(2016.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報2016-046
 【出願番号】特願2016-96703(P2016-96703)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月8日(2017.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動手段と、

その駆動手段の駆動力を伝達する伝達手段と、

その伝達手段から伝達される駆動力により回転されると共に外周面に複数の図形が描かれた第1回転体および第2回転体と、

演出内容を決定する演出内容決定手段と、

前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ回転制御して、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す組み合わせで前記図形が表示されるように回転制御する回転制御手段と、を有し、

前記第1回転体と前記第2回転体とはそれぞれ、遊技者が前記図形を視認し易い第1位置と、その第1位置よりも前記図形を視認し難い第2位置とに可変可能に構成され、

前記回転制御手段は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す前記図形の組み合わせを表示する場合に、前記第2位置で所定量まで前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ回転させた後に、前記第1位置に前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ可変させるものであることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記回転制御手段は、前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ第1方向とその第1方向とは反対の第2方向とに回転制御することが可能に構成され、

前記遊技機は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容に基づいて、前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ、前記第1方向と前記第2方向とのいずれに回動させるかを決定する回転方向決定手段を有するものであることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記伝達手段は、前記駆動手段の回転を、前記第1回転体および第2回転体へとそれぞれ異なる回転比で伝達することを特徴とする請求項1または2記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、駆動手段と、その駆動手段の駆動力を伝達する伝達手段と、その伝達手段から伝達される駆動力により回転されると共に外周面に複数の図形が描かれた第1回転体および第2回転体と、演出内容を決定する演出内容決定手段と、前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ回転制御して、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す組み合わせで前記図形が表示されるように回転制御する回転制御手段と、を有し、前記第1回転体と前記第2回転体とはそれぞれ、遊技者が前記図形を視認し易い第1位置と、その第1位置よりも前記図形を視認し難い第2位置とに可変可能に構成され、前記回転制御手段は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す前記図形の組み合わせを表示する場合に、前記第2位置で所定量まで前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ回転させた後に、前記第1位置に前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ可変させるものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、前記回転制御手段は、前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ第1方向とその第1方向とは反対の第2方向とに回転制御することが可能に構成され、前記遊技機は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容に基づいて、前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ、前記第1方向と前記第2方向とのいずれに回動させるかを決定する回転方向決定手段を有するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、駆動手段と、その駆動手段の駆動力を伝達する伝達手段と、その伝達手段から伝達される駆動力により回転されると共に外周面に複数の図形が描かれた第1回転体および第2回転体と、演出内容を決定する演出内容決定手段と、前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ回転制御して、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す組み合わせで前記図形が表示されるように回転制御する回転制御手段と、を有し、前記第1回転体と前記第2回転体とはそれぞれ、遊技者が前記図形を視認し易い第1位置と、その第1位置よりも前記図形を視認し難い第2位置とに可変可能に構成され、前記回転制御手段は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す前記図形の組み合わせを表示する場合に、前記第2位置で所定量まで前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ回転させた後に、前記第1位置に前記第1回転体と前記第2回転体とをそれぞれ可変させるものである。よって、遊技の興趣を向上できるという効果がある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 2 記載の遊技機によれば、請求項 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記回転制御手段は、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ第 1 方向とその第 1 方向とは反対の第 2 方向とに回転制御することが可能に構成され、前記遊技機は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容に基づいて、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ、前記第 1 方向と前記第 2 方向とのいずれに回動させるかを決定する回転方向決定手段を有するものである。よって、回動時間を短く構成できるという効果がある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1513

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1513】

遊技機 A 1 から A 1 1 , B 1 から B 1 2 , C 1 から C 1 0 及び D 1 から D 8 , E 1 から E 5 , F 1 から F 9 , G 1 から G 5 , H 1 から H 5 , I 1 から I 6 , J 1 から J 3 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 K 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機等の遊技機において、遊技球が流下可能な遊技領域を有した遊技盤に遊技球が入球可能な始動口が設けられ、その始動口への遊技球の入賞に基づいて、遊技の抽選を実行して、その抽選結果を示す演出が所定期間実行される。抽選結果を示す演出として、複数の図柄が示されたリールを複数回転させ、その複数のリールで表示される図柄の組み合わせにより抽選結果を報知する遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1：特開 2004-160759 号公報）。

しかしながら、上述した従来の遊技機では、所定の図柄の組み合わせで停止表示させるには、リールの大きさや示される図柄の数等によりリールの回転時間（停止させたい図柄が前面に位置するまでの回転時間）が長くなり、抽選結果が表示されるまでの時間が長くなり、遊技の興趣を低下させるという不具合があった。

本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上させた遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想 1 の遊技機は、駆動手段と、その駆動手段の駆動力を伝達する伝達手段と、その伝達手段から伝達される駆動力により回転されると共に外周面に複数の図形が描かれた第 1 回転体および第 2 回転体と、演出内容を決定する演出内容決定手段と、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ回転制御して、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す組み合わせで前記図形が表示されるように回転制御する回転制御手段と、を少なくとも備え、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とはそれぞれ、遊技者が前記図形を視認し易い第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記図形を視認し難い第 2 位置とに可変可能に構成され、前記回転制御手段は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す前記図形の組み合わせを表示する場合に、前記第 2 位置で所定量まで前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ回転させた後に、前記第 1 位置に前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ可変させるものである。

技術的思想 2 の遊技機は、技術的思想 1 記載の遊技機において、前記回転制御手段は、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ第 1 方向とその第 1 方向とは反対の第 2 方向とに回転制御することが可能に構成され、前記演出内容決定手段により決定された演出内容に基づいて、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ、前記第 1 方向と前記第 2 方向とのいずれに回動させるかを決定する回転方向決定手段を有するものである。

技術的思想 3 の遊技機は、技術的思想 1 または 2 記載の遊技機において、前記伝達手段は、前記駆動手段の回転を、前記第 1 回転体および第 2 回転体へとそれぞれ異なる回転比で伝達するものである。

< 効果 >

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、駆動手段と、その駆動手段の駆動力を伝達する伝達手段と、その伝達手段から伝達される駆動力により回転されると共に外周面に複数の図形が描かれた第 1 回転体および第 2 回転体と、演出内容を決定する演出内容決定手段と、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ回転制御して、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す組み合わせで前記図形が表示されるように回転制御する回転制御手段と、を少なくとも備え、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とはそれぞれ、遊技者が前記図形を視認し易い第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記図形を視認し難い第 2 位置とに可変可能に構成され、前記回転制御手段は、前記演出内容決定手段により決定された演出内容を示す前記図形の組み合わせを表示する場合に、前記第 2 位置で所定量まで前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ回転させた後に、前記第 1 位置に前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ可変させるものである。よって、遊技の興趣を向上できるという効果がある。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記回転制御手段は、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ第 1 方向とその第 1 方向とは反対の第 2 方向とに回転制御することが可能に構成され、前記演出内容決定手段により決定された演出内容に基づいて、前記第 1 回転体と前記第 2 回転体とをそれぞれ、前記第 1 方向と前記第 2 方向とのいずれに回動させるかを決定する回転方向決定手段を有するものである。よって、回動時間を短く構成できるという効果がある。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 または 2 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記伝達手段は、前記駆動手段の回転を、前記第 1 回転体および第 2 回転体へとそれぞれ異なる回転比で伝達するものである。よって、第 1 回転体と第 2 回転体との図形の組み合わせを多様に効率良く表示することができるという効果がある。